



# バスケットキット

Reelmaster® 3100-D シリーズ・トラクションユニット 27 インチ DPA  
カッティングユニット用

モデル番号03185

## 取り付け要領

### ⚠ 警告

カリフォルニア州  
第65号決議による警告  
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

## 取り付け

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	ローラバンパー フランジヘッドねじ 8 x 16mm	1 2	ローラバンパーを取り付けます。
3	ハイドロガード ボルト5/16 x 1インチ	1 1	ハイドロガードを取り付けます。
4	ガイドアセンブリ バスケットアセンブリ キャリッジボルト5/16 x 1 インチ フランジナット5/16 インチ バスケットブラケットガイドアセンブリ付 き右用 バスケットブラケットガイドアセンブリ付 き左用 ボルト5/16 x 2¼ インチ フランジナット5/16 インチ	2 2 4 4 1 1 2 2	バスケット装着アセンブリを取り付けます。
5	カットオフバー ボルト¼ x 1¾ インチ ロックナット¼ インチ	1 4 4	カットオフバーを取り付けます。
6	必要なパーツはありません。	—	新しいグラスデフレクタを取り付けます。
7	フランジロックナット3/8 インチ	2	サポートチューブを取り外す。
8	必要なパーツはありません。	—	後部用集草バスケットを組み付けます。



手順	内容	数量	用途
9	バスケット	3	バスケットをカッティングユニットに取り付けます。
10	必要なパーツはありません。	—	前バスケットの位置を調整します。
11	必要なパーツはありません。	—	後バスケットの位置を調整します。
12	必要なパーツはありません。	—	後バスケットのリップブラケットを調整します。
13	必要なパーツはありません。	—	後シールドを調整します。
14	必要なパーツはありません。	—	ローラバンパーを調整します。

**注** 27 インチ後ローラブラシキット Model 03186 を、このリールマスター 3100 集草バスケットキット Model 03185 の後バスケットと共に使用することはできません。後ローラブラシキットを取り外した場所に、後ローラスクレーパキット Part No. 114-9368 を取り付けすることができます。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

# 2

## ローラバンパーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ローラバンパー
2	フランジヘッドねじ 8 x 16mm

### 手順

ローラバンパーをエンジンのフランジに取り付けるフランジヘッドねじ 8 x 16mm 2本を使用 [図 1](#) を参照。

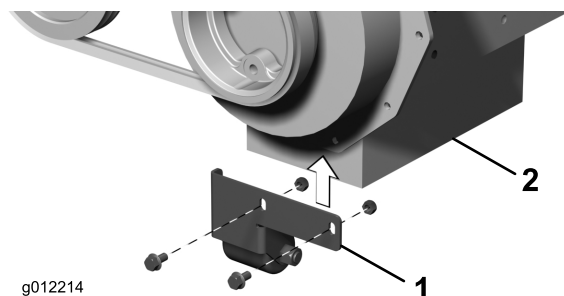


図 1

1. ローラバンパー
2. エンジン

# 3

## ハイドロガードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハイドロガード
1	ボルト 5/16 x 1 インチ

### 手順

1. ケーブルサポートブラケットの低い方の端部をポンププレートに固定しているボルトとナットを外す [図 2](#)。外したボルトは廃棄、ナットは再利用する。

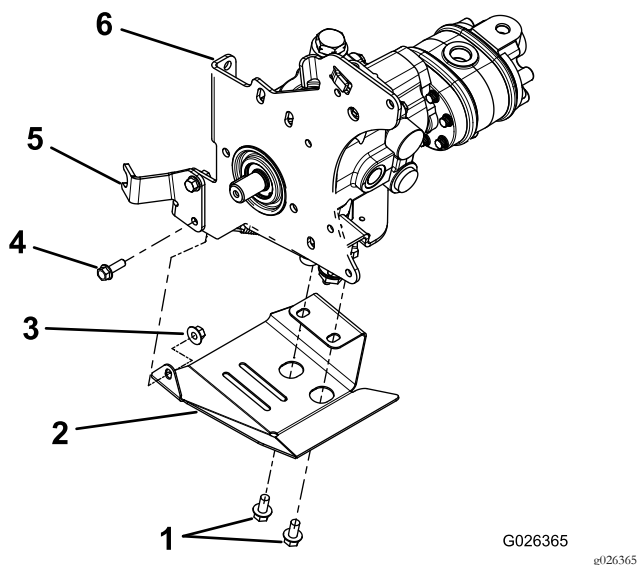


図 2

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 1. ボルト2本   | 4. ボルト           |
| 2. ハイドロガード | 5. ケーブルサポートブラケット |
| 3. ナット     | 6. ポンププレート       |

- ニュートラルブラケットをハイドロの裏側に固定しているボルト2本を外して保管する 図 2。
- 新しいハイドロガードとニュートラルブラケットを、ハイドロの裏側に取り付けるこの前のステップで外したボルト2本を使用する。この時点ではまだボルトは本締めしない 図 2。
- ケーブルサポートブラケットを、ポンププレートに仮止めする新しいボルトキットの付属品と、先ほど外したナットを使用する 図 2。
- 全部のボルトとナットを締めつける。

# 4

## バスケット装着アセンブリを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	ガイドアセンブリ
2	バスケットアセンブリ
4	キャリッジボルト5/16 x 1 インチ
4	フランジナット5/16 インチ
1	バスケットブラケットガイドアセンブリ付き右用
1	バスケットブラケットガイドアセンブリ付き左用
2	ボルト5/16 x 2 1/4 インチ
2	フランジナット5/16 インチ

### 手順

- カッティングユニットをカートンから取り出す。カッティングユニットに同梱されているオペレーターズマニュアルに従って組み立て、希望の設定に調整を行う。
- 図 3 を使って、カッティングユニット・キャリアフレームのどこにガイドアセンブリまたはブラケットアセンブリを取り付けるのかを確認する。

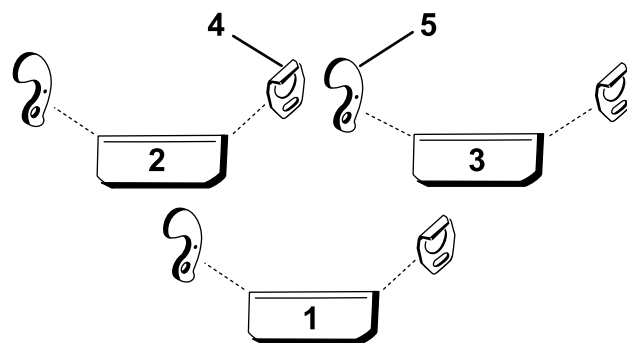


図 3

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. 中央バスケット | 4. ガイド   |
| 2. 左前バスケット | 5. ブラケット |
| 3. 右前バスケット |          |

### 前カッティングユニット

- 各キャリアフレームの右側の内側に、ガイドアセンブリを取り付けるキャリッジボルト 5/16 x 1 インチ2本とフランジナット 5/16 インチを使用する 図 4。

**注** キャリッジボルトとフランジボルトは、出荷時にガイドアセンブリに取り付けてあります。

4. 各キャリアフレームの左側の内側に、ブラケットアセンブリを取り付けるキャリッジボルト5/16 x 1 インチ2本とフランジナット5/16 インチを使用する [図 4](#)。

**注** キャリッジボルトとフランジボルトは、出荷時にガイドアセンブリに取り付けてあります。

#### 後カッティングユニット

**重要** アップダウンの激しい場所を刈り込む時には、後部のバスケットが落下しにくい赤色のバスケットをご使用ください。

5. ガイドアセンブリ付きの右側バスケットガイドアセンブリ付きを、カッティングユニットのキャリアフレームチューブの右端に挿入する [図 5](#)。

**注** 最終の調整がしやすいように、キャリッジボルトとフランジボルトは、出荷時に、ブラケットアセンブリの中ほどの位置に取り付けてあります。

6. バスケットブラケットについている穴を、キャリアフレームチューブの穴に合わせ、ボルト5/16 x 2¼ インチとフランジナット5/16 インチを [図 5](#) のように使って固定する。

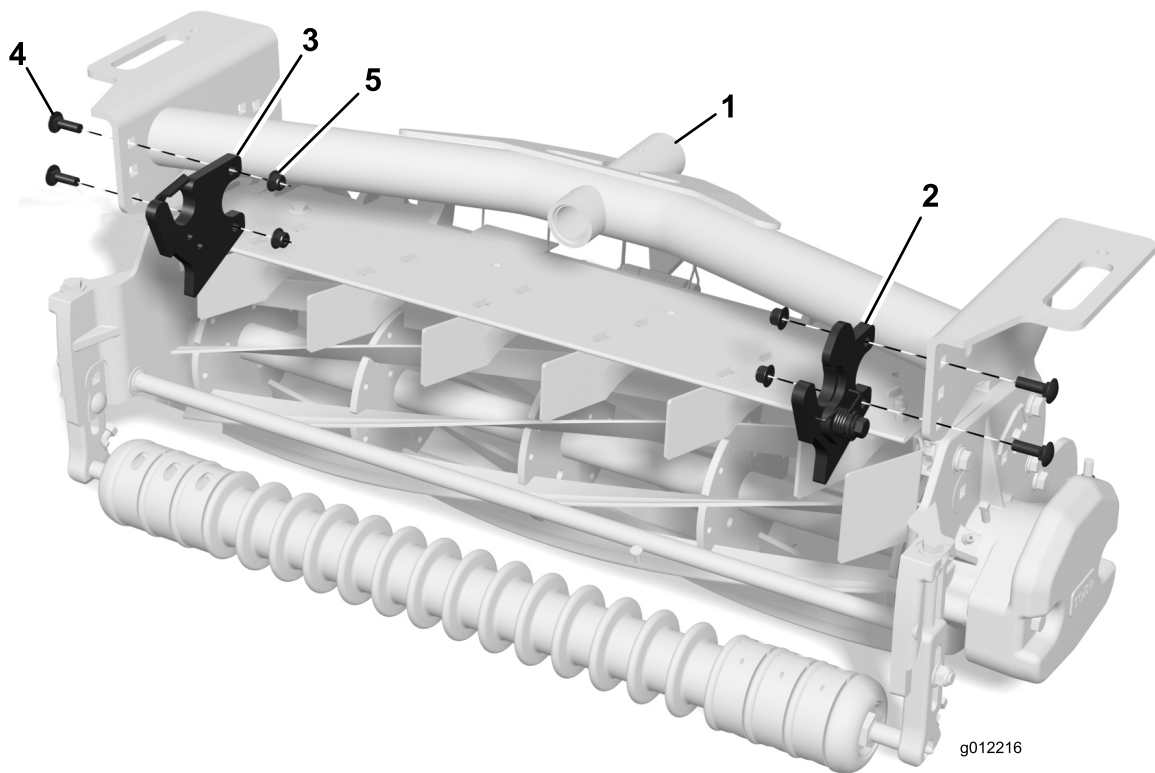
**注** ボルトはチューブの奥の壁まで締め通す必要があります。

7. 左側バスケットブラケットバスケットアセンブリ付を、カッティングユニットのキャリアフレームチューブの左端に挿入する [図 5](#)。

**注** 最終の調整がしやすいように、キャリッジボルトとフランジボルトは、出荷時に、ブラケットアセンブリの中ほどの位置に取り付けてあります。

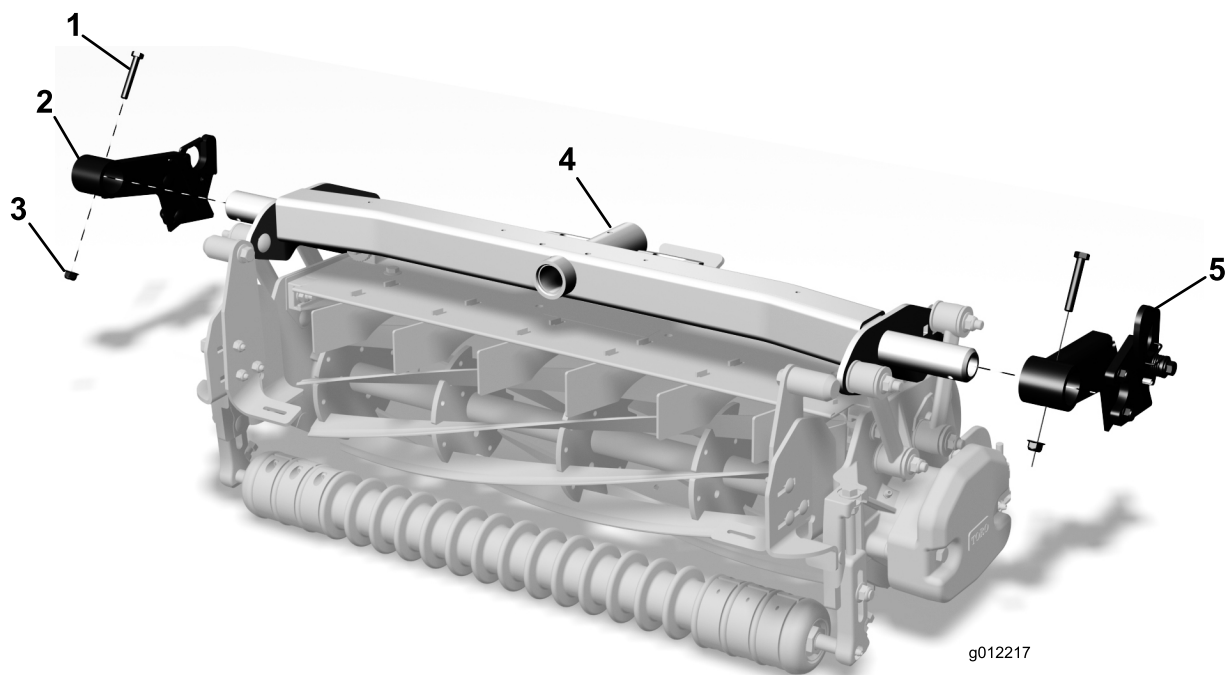
8. バスケットブラケットについている穴を、キャリアフレームチューブの穴に合わせ、ボルト5/16 x 2¼ インチとフランジナット5/16 インチを [図 5](#) のように使って固定する。

**注** ボルトはチューブの奥の壁まで通すこと。



**図 4**

- |               |                   |                   |
|---------------|-------------------|-------------------|
| 1. キャリアフレーム   | 3. ガイドアセンブリ       | 5. フランジナット5/16インチ |
| 2. バスケットアセンブリ | 4. ボルト5/16 x 1インチ |                   |



g012217

g012217

図 5

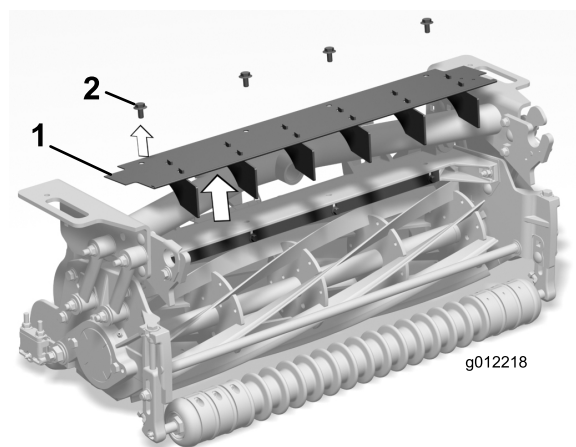
- |                          |                   |                          |
|--------------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. ボルト5/16 x 2¼ インチ      | 3. フランジナット5/16インチ | 5. 右バスケットブラケットガイドアセンブリ付き |
| 2. 右バスケットブラケットガイドアセンブリ付き | 4. キャリアフレーム       |                          |

# 5

## カットオフバーを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	カットオフバー
4	ボルト¼ x 1¾ インチ
4	ロックナット¼ インチ



g012218

g012218

図 6

### 手順

- 前ガラスシールドとデフレクタをカッティングユニットのフレームに固定しているフランジヘッドボルト4本を外す [図 6](#)
- ガラスシールドを取り外す。
- カットオフバーをカッティングユニットのフレームに仮止めするボルト¼ x 1¾ インチ4本とロックナット¼ インチ4個を使用する [図 7](#)。

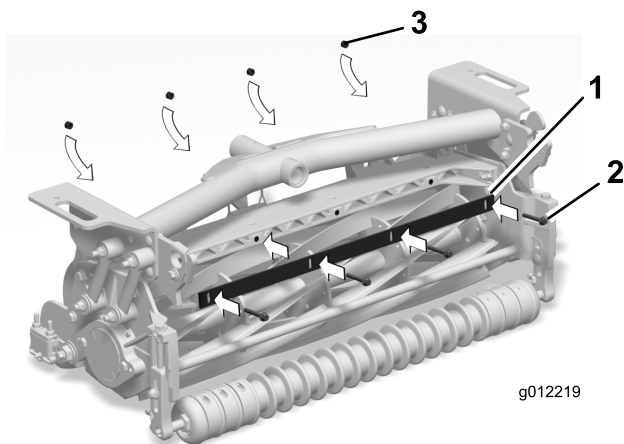


図 7

1. カットオフバー
2. ボルト  $\frac{1}{4}$  x  $1\frac{1}{4}$  インチ
3. ロックナット  $\frac{1}{4}$  インチ

4. 隙間ゲージ1.5mmを使って、リール上面とカットオフバーの下端との間のすきまを確認する 図 8。

**注** リールの全幅にわたって隙間の幅が一定となるように調整するカットオフバーがリールに接触してはいけない。

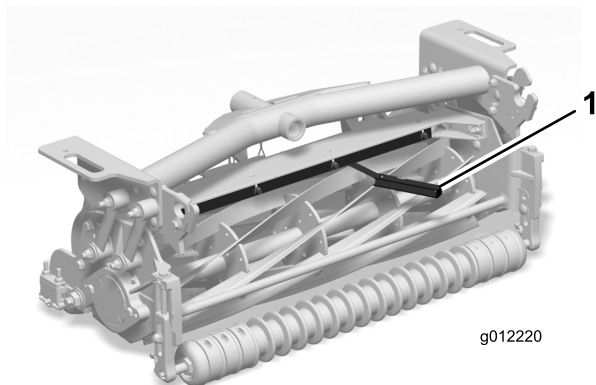


図 8

1. すき間ゲージ

5. ボルトとロックナットを締めつける 図 7。
6. この時点ではまだガラスシールドは取り付けない。

# 6

## 新しいグラスデフレクタを取り付ける (前のカッティングユニットのみ)

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 図 9 に示すように、デフレクタ2つだけを残して、中央のデフレクタ2つと、シールドの各端部のデフレクタを取り外す。

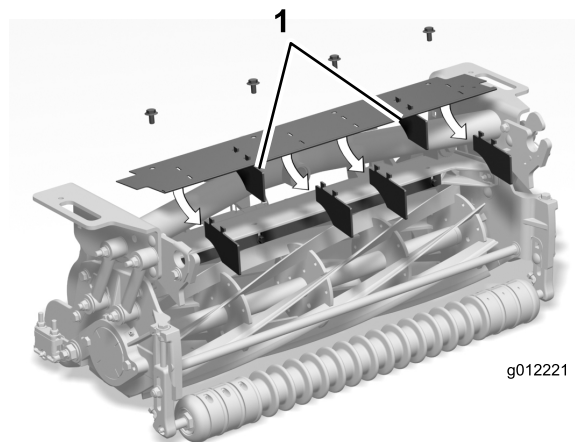


図 9

1. これらのデフレクタは外さないこと。

2. ねじ10-24 x  $\frac{1}{2}$  インチ2本とナット10-24を使って、新しいデフレクタをシールドの左端に 図 10 のように取り付ける。



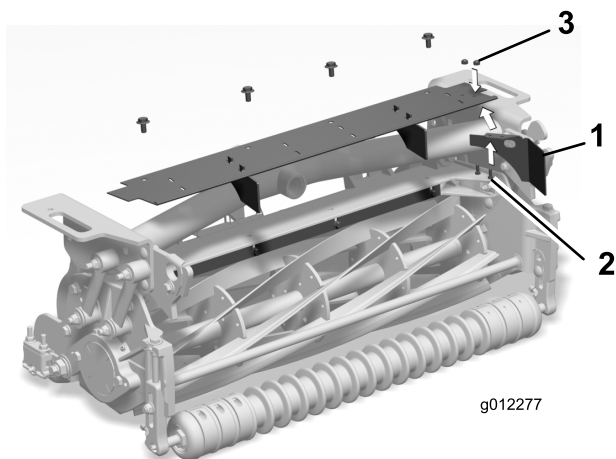


図 10

1. 新しいデフレクタ
2. ねじ10-24 x ½ インチ
3. ナット10-24

3. グラスシールドと残りのデフレクタを取り付ける。

## 7

### サポートチューブを取り外す

この作業に必要なパーツ

2	フランジロックナット3/8 インチ
---	-------------------

#### 手順

1. サポートチューブをカッティングユニットのサイドプレートに固定しているフランジヘッドボルト2本を外す【図 11】。サポートチューブを取り外す。
2. フランジヘッドボルトを、カッティングユニットのサイドプレートに固定する付属品のフランジロックナット3/8インチ2個を使用する【図 11】。

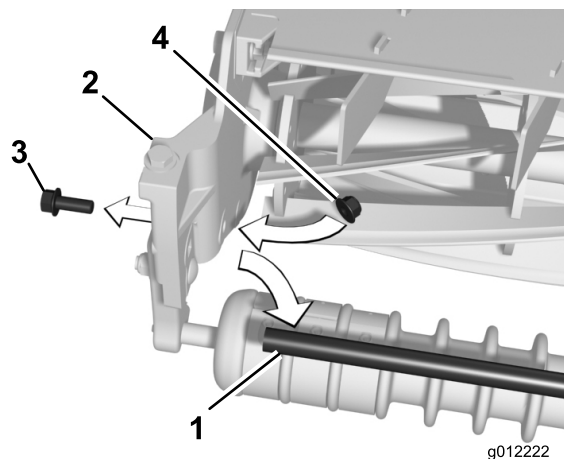


図 11

1. サポートチューブ
2. サイドプレート
3. フランジヘッドボルト
4. フランジロックナット3/8 インチ

## 8

### 後部用集草バスケットを組みつける

必要なパーツはありません。

#### 手順

1. 出荷時にストラップボルトにつけているワッシャとナットを取り外す【図 12】。
2. ストラップについているケーブルタイを取っ手代わりに使って各ストラップを引き伸ばして、ストラップをワッシャ2枚とロックナットでバスケットに固定できるようにする【図 12】。バスケット上部の左右それぞれに、ワッシャを取り付ける。

**注** ストラップの取り付けが終了したら、ケーブルタイを切断してください。

**注** 木片20cm x 10cm【図 12】をバスケットの中に入れてバスケットの天井を支えておくとストラップの取り付けが簡単です。

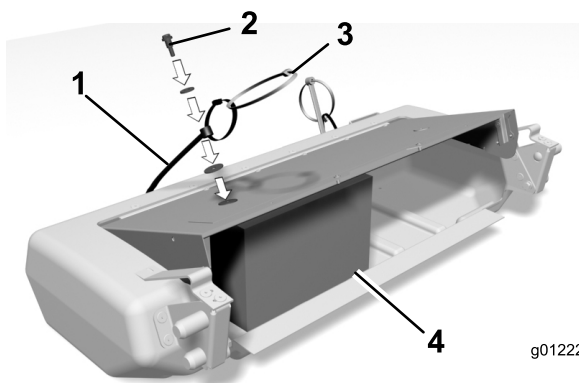


図 12

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. ストラップ    | 3. ケーブルタイ |
| 2. ストラップボルト | 4. 木片     |

**注** ストラップが伸び過ぎてバスケット上部を開いた状態に保持できない場合には、バスケット後部についているガイドホール(図 13)を使って、ストラップボルト用の新しい穴の位置を決めてドリルで穴を開けてください。

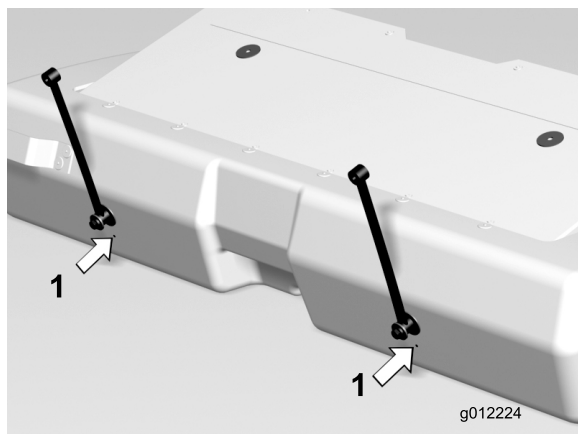


図 13

1. ガイドホール2個

## 9

### バスケットをカッティングユニットに取り付ける

この作業に必要なパーツ

3	バスケット
---	-------

#### 手順

各キャリアフレームに集草箱を取り付けるバスケット取り付けピンをバスケットガイドブラケットに通

し、反対側の取り付けピンをピボットバスケットブラケットに押し入れて装着する(図 14)。

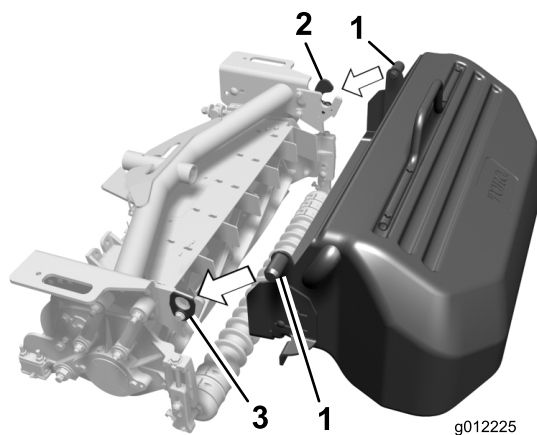


図 14

- |                |                    |             |
|----------------|--------------------|-------------|
| 1. バスケット取り付けピン | 2. ピボット式バスケットブラケット | 3. バスケットガイド |
|----------------|--------------------|-------------|

## 10

### 前バスケットの位置を調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

前バスケットがカッティングユニットに対して平行であること、また、バスケットのリップとリールとの間に最小すきま6mmが確保されていることを確認する。バスケット位置の調整が必要な場合は以下の手順で行う

- それぞれのバスケットの各端部で、バスケットストップブラケットをバスケットに固定しているキャリッジボルトをゆるめる(図 15)。
- バスケットがカッティングユニットに対して平行になるように、また、バスケットのリップとリールとの間に最小すきま6mmが確保されるように位置を修正する(図 15)。
- バスケットの各端部で、バスケットストップブラケットを調整してブラケットがサイドプレートに接触するようにする。
- キャリッジボルトのナットを締めてバスケットの位置を固定する。



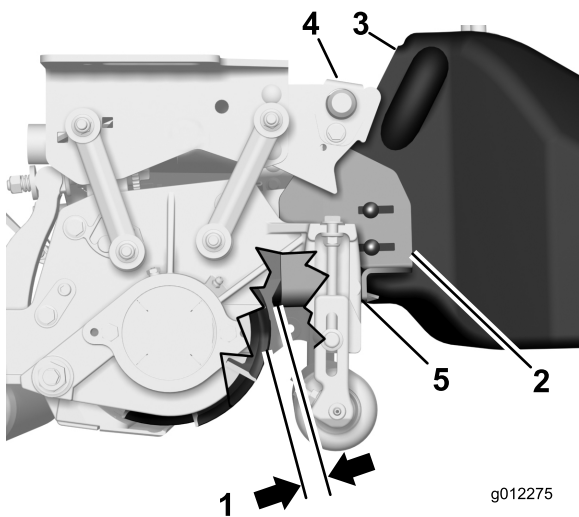


図 15

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 6mm のすき間       | 4. キャリアフレームのアーム |
| 2. バケットストップ用ブラケット | 5. 接点           |
| 3. バケット           |                 |

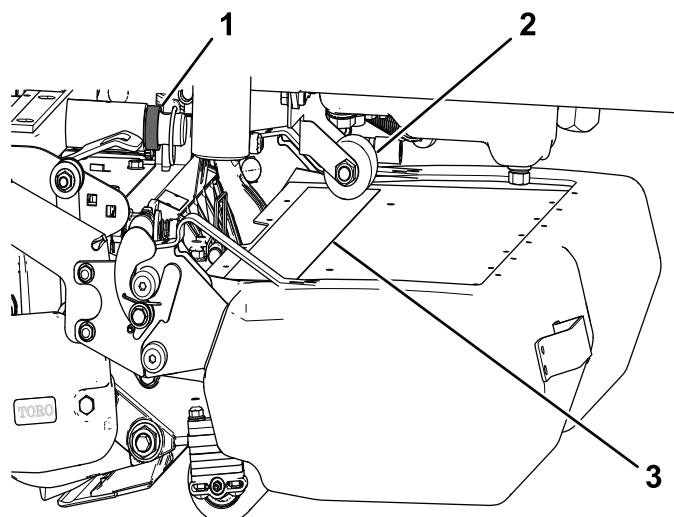


図 16

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| 1. スペーサ | 3. グラスシールドのウェアストリップ |
| 2. ローラ  |                     |

# 11

## 後バスケットの位置を調整する

必要なパーツはありません。

### 手順

後バスケットをカッティングユニットに取り付けるとき、バスケットがわずかに後ろに傾いているようにしてください。

カッティングユニットを上昇させた時に、ローラバンパーが常時、バスケットの上シールドのウェアストリップに接触する必要があります 図 16。

1. 後中央のカッティングユニットを取り付ける時、昇降アームピンのスペーサをカッティングユニットのキャリアフレームの後ろに 図 16 のように取り付ける。

2. バケット後部がわずかに上がっているようにバスケットを調整する
  - A. それぞれのバスケットの各端部で、ガイドとブラケットアセンブリをバスケットブラケットに固定しているキャリッジボルトとナットをゆるめる 図 17。
  - B. キャリッジボルトのナットを締めてバスケットの位置を固定する。
  - C. カッティングユニットを何度か昇降させて、ローラがウェアストリップに接触することを確認する。

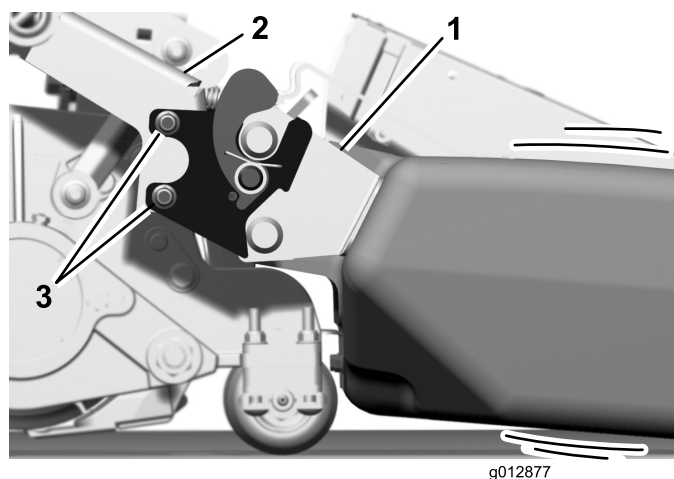


図 17

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ブラケットアセンブリ図はバスケットの左端 | 3. キャリッジボルトのナット2個 |
| 2. バケットブラケット            |                   |

- D. サイドワインダー機能を持つトラクションユニットでは、カッティングユニット

を左右にも何度かスライドさせて、ローラがウェアストリップに接触することを確認する。

- E. ローラがウェアストリップに接触していない場合には、バスケット後部をさらに上げる。

## 12

### 後バスケットのリップブラケットを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

後バスケットのリップブラケットがローラと面一または 6mm 以内になっていることを確認する [図 18](#)。ブラケットがローラと面一でない場合には、取り付けキャップスクリュをゆるめてブラケットを調整する。

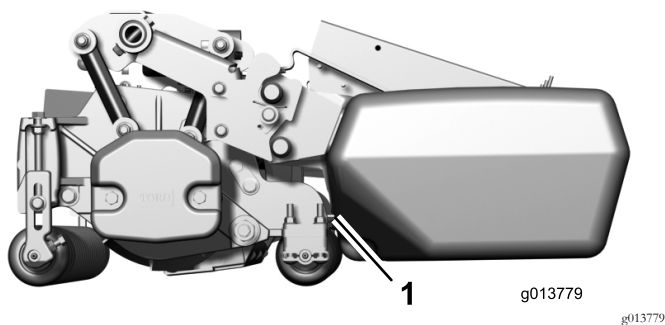


図 18

1. 後バスケットのリップブラケット

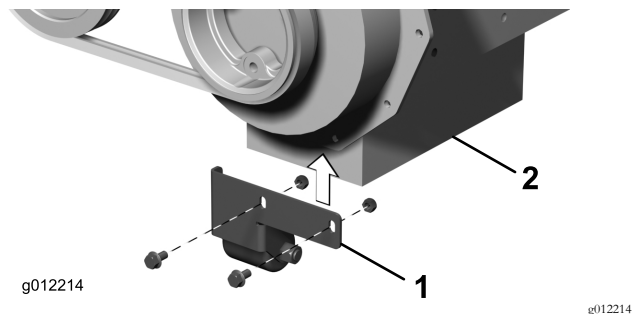
## 14

### ローラバンパーを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

中央のバスケットが当たったときにローラが上部シールドと平行になるようにローラバンパー [図 19](#) を調整してください。バスケットが平行でないと、バスケットを上昇させたときにバスケットの後部がエンジンに接触する可能性があります。



1. ローラバンパー

2. エンジン

## 13

### 後グラスシールドを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

- ぬれた芝を刈り込む場合には、後シールドを一番上の位置にセットする。
- 乾燥している期には、後シールドを少し下げると、刈りかすが集草箱の後ろまでよく飛ぶようになります。必要に応じて調整する。

メモ



**Count on it.**